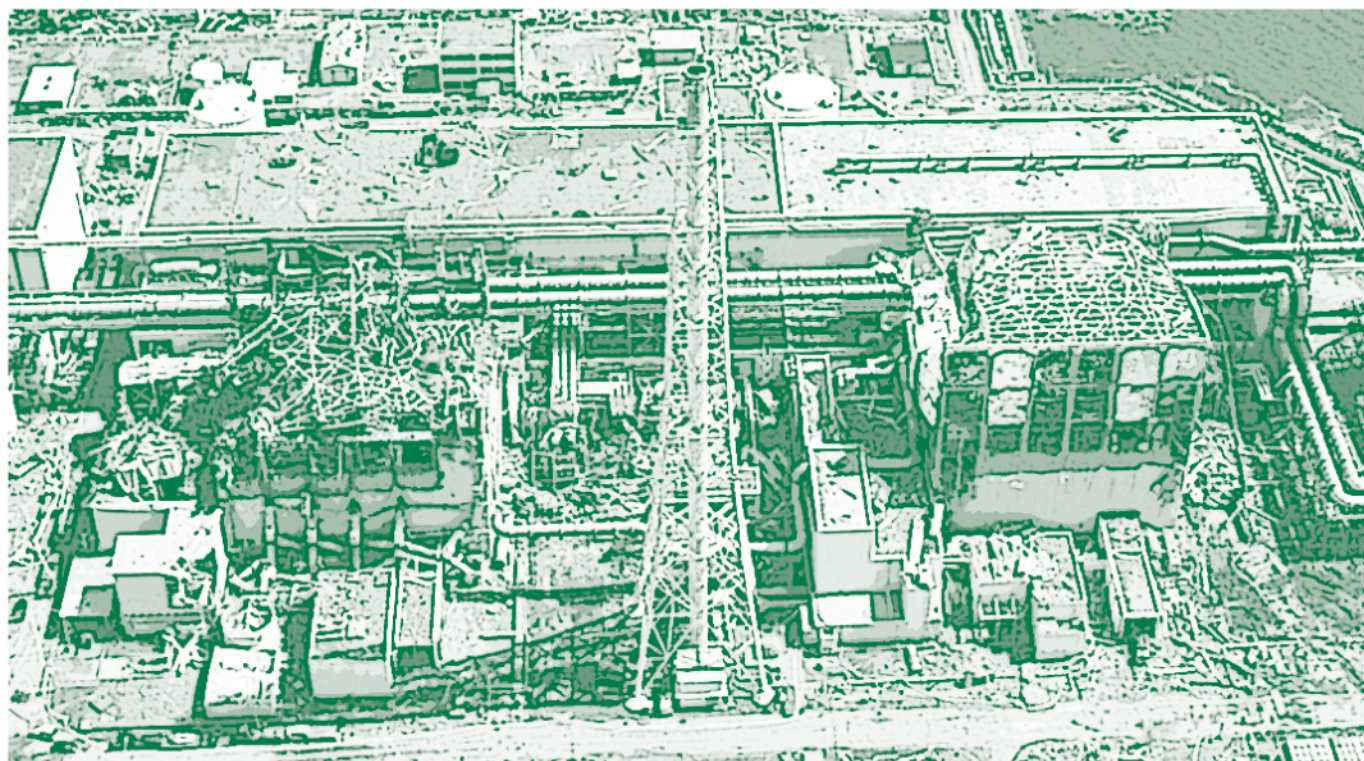


3.11後の環境問題と科学技術

『新通史 日本の科学技術—世紀転換期の社会史／1995年～2011年』全4巻+別巻(原書房)が全巻完結したことを記念し、編集代表でもあり、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会の委員でもある吉岡齊氏を招いたシンポジウムを下記のとおり開催します。



参加
無料

- 日時 2012年**9月8日(土)** 13時00分～17時05分
(12時30分開場)
- 場所 北海道大学学術交流会館 大講堂 (北8条西5丁目:北大正門わき)

第1部 講演

- 「歴史としての福島原発事故」 吉岡 齊
(九州大学副学長、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会委員)
- 「原発に関して、科学者は今なにをすべきか？」 小野 有五
(北星学園大学教授、北海道大学名誉教授)
- 「地球温暖化問題と環境科学 ～福島原発事故を踏まえて～」 矢吹 哲夫
(酪農学園大学教授)

第2部 パネルディスカッション

司会 白鳥 紀一 (九州大学名誉教授)

パネラー 吉岡 齊・小野 有五・矢吹 哲夫

閉会挨拶 針谷 順子 (株式会社編集工房球 代表取締役社長:本書執筆者、担当編集者)

主催 新通史フォーラム

後援 株式会社 原書房

問い合わせ先 小野 有五 TEL 011-594-8454